



学校だより

ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

平成27年2月27日

3月号

横浜市立釜利谷南小学校

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kamariyaminami/>

校長 田中 綾子

有終の美にむけて、まとめの月

平成26年度の最後の月を迎えました。20日(金)には学校におけるもっとも重要な行事である卒業証書授与式、そして25日(金)には、本年度の教育活動を締めくくる修了式が行われます。子どもたちも教職員も、しっかりと緊張感をもってその日を迎えたいと考えています。

2月25日には卒業式の練習がはじまりました。入場練習をする6年生のすっきりきれいに伸びた姿勢からは立派な卒業証書授与式にするという心が伝わってきます。今年度も6年保護者ボランティアさん手作りの胸花が華を添えてくれます。

2月27日には、6年生は小学校生活総まとめの授業参観が行われます。学習活動の有終の美を飾ります。

本校では重点研究で「子どもの思いや願いが生きる学級活動の話合い活動」を研究して3年目になりました。今年度も子どもたちが集団活動を積み重ねることによって、集団の一員として自覚し、協力してよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を身につけ、好ましい人間関係を創っていく力を育むために研究をすすめてきました。話合い活動を活発にするには子どもたち自身が自分の学級生活の充実のために生活、学習、保健や安全に関する諸問題をみんなで協力して自主的に解決していこうとする意欲を持つことが前提です。活動意欲を高め、自発的な活動を促すためには一人一人の良さを認め、それが学級生活の中でいかに役立っているかが実感できる機会や場があることです。子どものよさを生かすことが指導の根底にあります。各教室で話合い活動が工夫され、子どもたちの発言が増えました。高学年では、司会者が自信をもって進行するようになり、書記のまとめかたもスムーズになりました。低学年や中学年ではよく廊下や校庭でも言い合いではなくてミニ学級会が自然発生しているほほえましい光景が見られました。

2月の代表委員会でのことです。6年生に感謝とお祝いのための話し合いなので6年生は代表が1人だけの参加です。学校運営協議会の委員さんが後方に10名の参観です。この日初めて3年生が参加しました。クラスの代表やクラブ、委員会の代表が次々提案に賛成意見を言うなかで3年生の一人が挙手をして反対意見を堂々と言いました。自分の意見を理由もきちんとつけて言える3年生とその意見に耳傾けている4年生5年生の姿は、互いの意見を尊重し建設的な意見を話し合うという姿勢が育ってきた証だと思えます。



第10回代表委員会

また、今年度の目標の1つである、学校図書館教育の研究では今年度から配置された学校司書の杵築先生とPTA図書サポートボランティアの皆さんとの連携や授業への関わりの実践がおこなわれ、子どもたちは読書のための図書館利用だけでなく、学習の場としてまた、自分の学習の結果の発信の場として活用を広げました。校長会読書活動の推進専門校として発表をしたときのパワーポイントを学校ホームページに掲載してありますのでご覧ください。

学級にはクラス目標が掲示されています。自分の目標も決まっています。大きな目標、高い目標であればあるほど達成には難しさや困難もあったことでしょう。今まで培ってきた力に自信をもって有終の美に向かって3月の一日一日を大切に過ごして行ってほしいと思えます

2月27日 児童集会10回目は縦割りり



学校・家庭・地域の協働は誇り

現在、振り返りアンケートを、集約・考察しています。2月16日の釜利谷南学校運営協議会ではアンケートや参観、日常活動や生活の様子をもとに学校関係者評価をいただきました。様々な視点から寄せられた意見を真摯に受け止め、来年度の釜利谷南小学校の教育にしっかりと反映させていきます。アンケート内容についても改善にむけて検討していきます。

今年度も、地域の皆様、保護者の皆様、関係諸機関の皆様には、ご理解・ご支援をいただき心よりお礼申しあげます。釜利谷南小学校の学校・家庭・地域の協働は子どもたちにとって幸せな環境であるとともに、学校にとって大きな力です。